

氏名	千葉真希子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学、助産学、国際医療協力				
学位	修士(国際医療協力)				
学歴	2002年茨城県立大学保健医療学部看護学科、2006年千葉県医療技術大学校助産学科、2016年杏林大学大学院国際協力研究科国際医療協力専攻博士前期課程				
経歴	2002年茨城県立こども病院、2006年千葉県済生会習志野病院、2011年独立行政法人国際協力機構 青年海外協力隊、2016年日本看護協会健康政策部助産師課、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教				
所属学会(役職)	日本看護学会、日本助産学会、日本看護管理学会、日本母性衛生学会、国際保健医療学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3) 学会発表					
1	該当なし				
2					
3					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	助産業務管理	2018.11	業務管理が、自分の職場内だけに留まらないことや、管理職のみならず、自己の管理にもつながるように、科目責任者と相談して実施した。		
2					
3					
(2) 演習					
1	分娩期のケア	2018年4月～5月	分娩介助実習がイメージできるようにデモンストレーションや産痛緩和方法等の補助を行った。		
2	母性看護学Ⅲ	2018年10月～12月	各演習が効果的に学習ができるよう補助を行った。		
3	周産期のケア	2018年10月～2019年1月	産褥期の退行性変化について、手技の確認、正常・異常や阻害要因についてアセスメントできるよう演習を行った。		

(3) 実習				
1	母性看護学実習	2018.5月～6月	3年次生を対象に、産科病棟において主担当・副担当として、学生が5週間褥婦や新生児の看護の特徴などを学べるように調整しながら実習指導を行った。	
2	総合実習	2018年7月	4年次生を対象に、産科病棟および外来において3週間の実習指導を行い、学生が妊娠中から退院後の生活がイメージをもてるように関わった。	
3	助産学実習Ⅱ(NICU実習)	2018年8月～9月	分娩介助実習では2施設に渡る学生が情報の整理とアセスメントを活かした実践ができるように、NICU実習のカンファレンスで努めた。	
4	IPW演習	2018.10月	副担当として、学生が施設で自主的に参加できるように主担当のサポートを行った。	
(4) 論文指導				
1	該当なし			
2				
3				
(5) その他				
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	チャレンジジュニア育成事業 夢のかけはし	埼玉県	「看護師になりたい」体験教室	2018年11月17日
2				
3				
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本母性看護学会	第20回日本母性看護学会学術集会(事務局)	2018年6月23, 24日	
2				
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	就職支援プロジェクト			
2				
3				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			